

講義シラバス

科目名	保健Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健・衛生管理を担当しています。						

【授業を通じての到達目標】

美容師は髪や頭皮など人の体に直接触れる仕事であるので、人の体の構造や機能について知識を深め習得できる
国家試験に対応できる知識が理解できる

【学習内容】

教科書を中心として、人の体の各部の構造や機能について解説し、練習問題や小テストを行い知識を学習していく。

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書(保健)、プリント

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (5/11)	【到達目標】人体各部の名称が理解できる 人体の各部に関して解剖学的についている名称について理解を深める	⑨ (7/13)	【到達目標】感覚器の聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚について理解できる 耳には、聴覚と平衡感覚という働きがあることを学ぶ。味覚や嗅覚について学習する
② (5/18)	【到達目標】頭部、顔部、頸部の体表解剖学について理解できる 美容師に関連の深い頭部、顔部、頸部の各部位の名称について理解を深める	⑩ (7/20)	【到達目標】人体の血液・循環器系について理解できる 血液の組成、心臓と血管の各部の名称とはたらきについて学習する
③ (5/25)	【到達目標】人体の骨格系の構造について理解できる 骨の種類と構造についての知識を学習する	⑪ (8/24)	【到達目標】人体の血液・循環器系について理解できる 血液が心臓、血管を流れる経路、リンパについて学習する
④ (6/1)	【到達目標】人体の骨格系とその働きについて理解できる 頭蓋、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨について各部の名称、働きについて学習する	⑫ (8/31)	【到達目標】人体の呼吸器系について理解できる 肺の構造と呼吸運動によるガス交換の行われる仕組みを学習する
⑤ (6/8)	【到達目標】人体の筋の種類とその特徴が理解できる 主な骨格筋とその働きについて学習する	⑬ (9/7)	【到達目標】人体の消化器系について理解できる 消化器系のあらまし、消化管の仕組みを学習する
⑥ (6/22)	【到達目標】頭部の筋である表情筋について理解できる 表情筋と表情運動を学習し人の表情をつくる筋について学習する	⑭ (9/14)	【到達目標】人体の消化器系について理解できる 消化管の働き、消化と物質代謝について学習する
⑦ (6/29)	【到達目標】人体における神経系について理解できる 神経は身体の動きに関係するとともに、体内諸器官の働きを調節していることを学ぶ。 中枢神経、末梢神経、体性神経、自律神経が理解できる	⑮ (9/28)	【定期試験】 人体の構造と機能(第1章～第8章)の範囲で筆記試験
⑧ (7/6)	【到達目標】感覚器の視覚について理解できる 眼は小さな器官であるがきわめて複雑な構造をもっている。見ることである視覚について眼の各部の名称とはたらきについて学ぶ	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化した評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース	トップスタイリスト専攻			学年	1年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き28年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技指導の経験を活かした授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師として必要な基礎知識を身につけて、一層興味深く学ぶ意欲を育むことを目標とする。

【学習内容】

美容に関する専門用語・道具・名称・技術手順など、教科書を中心にサロンワークと関連づけて解説する。

【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①教科書 ・B5判ノート(専用ノート) ・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (5/11)	【到達目標】 授業の意味を理解してもらう 授業内容の説明 美容技術者としての心構え・作業姿勢・人体各部の名称を学び理解する。(なぜ必要な知識か考える)	⑨ (7/13)	【到達目標】 ②パーマントウェーブ技術の手順を学び理解する。(ワインディングのバリエーションを体験)
② (5/18)	【到達目標】 美容用具の名称・選定法・手入れ法・使用目的を学び理解する。(コームの持ち方いろいろ体験)	⑩ (7/20)	【到達目標】 ①ヘアカラーリング剤の種類と染毛のメカニズム・色の基本を学び理解する。
③ (5/25)	【到達目標】 ①シャンプーの目的など施術によって使い分ける技術・シャンプー剤の種類を学び理解する。(エアシャンプー姿勢など体験)	⑪ (8/24)	【到達目標】 ②酸化染毛剤の技術手順とヘアブリーチの違いとポイントを学び理解する。
④ (6/1)	【到達目標】 ②リンス・コンディショナー・トリートメントの違いや成分、スカルプトリートメント・スカルプマッサージを学び理解する。(ウィックを使用してマッサージを体験)	⑫ (8/31)	【到達目標】 ①ヘアセッティング/オールウェーブセッティングの実技に必要な基礎知識を学び理解する。
⑤ (6/8)	【到達目標】 ヘアデザイン(創造力を養う)をお客様に提案できる基礎知識からのプロセスを学び理解する。	⑬ (9/7)	【到達目標】 ②ヘアセッティング/ブロードライやバックコーミングに必要な基礎知識を学び理解する。
⑥ (6/22)	【到達目標】 ①ヘアカッティングの目的・基礎理論を学び理解する。(スライス線と長さの関係を体験)	⑭ (9/14)	【到達目標】 美容技術理論①の重要ポイントの強化、復習を中心に進めて定期試験対策を集中的に行う。
⑦ (6/29)	【到達目標】 ②ベーシックな4つのヘアスタイルの特徴とカット技法を学び理解する。	⑮ (9/28)	【定期試験】60点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。
⑧ (7/6)	【到達目標】 ※授業設備 保護者向け ①毛髪の構造とパーマントウェーブが形成される仕組みを学び理解する。(パーマ剤の種類と特徴)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験80点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

講義シラバス

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	始関祐華	講師 プロフィール	美術、文化の知識、教員免許を活かし本校で文化論の授業を担当している。						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験の科目である文化論の内容を計画的に学ぶことで、スタイリストとしての知識を深めることを目標とする。

【学習内容】

文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書文化論、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (5/12)	文化論が国家試験の必須科目であることを理解する。美容がどのように社会と関わっているかを考える。美容の定義、起源について学ぶ。	⑨ (7/14)	近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②
② (5/19)	日本の美容業・美容業の歴史について、その発生・制度・動向を学び理解する。	⑩ (7/21)	現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①
③ (5/26)	縄文・弥生・古墳時代、古代【飛鳥・奈良・平安時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び、理解する。	⑪ (8/25)	現代Ⅰ【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②
④ (6/2)	中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世Ⅰ【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑫ (9/1)	現代Ⅱ【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑤ (6/9)	近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑬ (9/8)	現代Ⅲ【1980年代～1990年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑥ (6/23)	近世Ⅱ【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑭ (9/15)	現代Ⅳ【2000年代以降】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑦ (6/30)	近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①	⑮ (9/29)	日本のファッション文化について特徴を理解しているか。4択問題を中心に出題。
⑧ (7/7)	近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化した評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。

講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務						

【授業を通じての到達目標】

授業への取り組み方 基礎的技術を学ぶ

【学習内容】

準備片付けを効率よく進め上巻き下巻き姿勢の技術習得

【使用教科書・教材・参考図書】

WD用具一式・ノート・筆記用具・名札

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (5/9) (5/12)	用具の取り扱い、セッティングの仕方を身につける 二重ゴムができる	⑨ (7/11) (7/14)	フロントのブロッキングスライス、 姿勢、ステムを理解し巻ける
② (5/18) (5/19)	ウィックの取り扱い コームの持ち方、回転の仕方 センターブロッキングが取れるようになる	⑩ (7/18) (7/21)	右BSのスライス、姿勢、ステムを理解し スムーズに巻ける
③ (5/23) (5/26)	スライス、シェーブ、ゴムの掛け方上巻きを身につける	⑪ (8/22) (8/25)	右BS、サイド、スライス、シェーブを意識し バランス良く収められる
④ (5/30) (6/2)	正しい目線、姿勢、上巻きがスムーズにできる 12ブロッキングができる	⑫ (8/29) (9/1)	姿勢、スライス、ステム、シェーブを意識し バランス良く収められる
⑤ (6/8) (6/9)	スライス、ステムの理解 正しい姿勢、下巻きができる 12ブロッキング 8分	⑬ (9/5) (9/8)	センターのロッドを真っすぐ収め 右BSをバランス良く収められる
⑥ (6/20) (6/23)	下巻きがスムーズに巻ける 上巻き 1本30秒	⑭ (9/12) (9/15)	ブロッキング 7分 センター・右BS 25分 時間内完成
⑦ (6/27) (6/30)	ブロッキング 8分 上巻き、下巻きがスムーズに巻ける	⑮ (9/26) (9/29)	【定期試験】50 バランス良く収め時間内完成 センター・右BS 25分
⑧ (7/4) (7/7)	ブロッキング 7分 センターWD 13分で巻き終わる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	運営管理	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	福山 紫	講師 プロフィール	経済学部卒業。本校の通信制課程を修了し、ヘアメイク・着付け等の美容業に従事。						

【授業を通じての到達目標】

社会に出てから必ず関わる必要な知識であることを理解し、また美容師国家試験の科目であることを踏まえ、問題を解く力を養う。

【学習内容】

美容師国家試験の必須科目として問題を解けるようにする。

従業員・経営者それぞれの視点と、顧客のためのサービスという考えを知り、美容師としてだけでなく社会人として必要な知識を身に着ける。知ること・考えることの大切さを理解し、視野を広げて物事を捉えられるようにする。

【使用教科書・教材・参考図書】

運営管理の教科書、補足プリント

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (5/12)	【到達目標】 オリエンテーションを受け、国家試験における運営管理という科目について理解する。 運営管理が美容師だけでなく様々な分野や組織においても必要となることを知り、学習の計画を立てる。	⑨ (7/14)	【到達目標】 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第1節～第3節 社会人としての責任、社会保険①公的年金、社会保険②医療年金
② (5/19)	【到達目標】 第1編 経営者の視点 第4章 経営とは、経営者とは 第1節～第5節 経営とは何か、経営者の責任、経営の目的、経営戦略①②	⑩ (7/21)	【到達目標】 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第4節～第6節 社会保険③労働保険、キャリアプランの重要性、仕事をすすめるうえで考えるべきこと
③ (5/26)	【到達目標】 第1編 経営者の視点 第2章 理容業・美容業の経営について 第1節～第5節 業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の賞化、理容業・美容業における競争、競争の未来図、理容業・美容業の顧客	⑪ (8/25)	【到達目標】 第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン
④ (6/2)	【到達目標】 第1編 経営者の視点 第3章 資金の管理 第1節～第4節 資金管理の重要性、収支と利益、会計の考え方、コストを管理する	⑫ (9/1)	【到達目標】 第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング
⑤ (6/9)	【到達目標】 第1編 経営者の視点 第3章 資金の管理 第5節～第6節 税金について、税金の申告	⑬ (9/8)	【到達目標】 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割
⑥ (6/23)	【到達目標】 第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第1節～第4節 人という資源とは、人の能力を高める、人をやる気にさせるために、給与	⑭ (9/15)	【到達目標】 第1編～第3編の総復習
⑦ (6/30)	【到達目標】 第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第5節～第6節 待遇・福利厚生、労働者の権利 第2章 健康・安全な職場環境の実現 第1節～第2節 健康経営の基礎、理容・美容の仕事と健康	⑮ (9/29)	【定期試験】50 第1編～第3編の学習内容について理解しているか
⑧ (7/7)	【到達目標】 第2編 人という資源 従業員としての視点 第2章 健康・安全な職場環境の実現 第3節～第4節 美容業に特徴的な健康問題、作業環境に関する健康問題 第3章 従業員としての視点から 第1節 社会人(美容従事者)としての責任 (第2節～第4節 社会保険)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
遅刻、欠席、忘れ物、授業態度 小テストは進捗状況によって数回行う			

講義シラバス									
科目名	衛生管理	必修	必修	開講	1S	授業	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	看護師として20年以上手術室、外科系の病院に勤務。その後フリーランスに転身。病気、けがの対処などを教えられる						
【授業を通じての到達目標】									
美容業に従事する者にとって密接な関係にある衛生管理について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。									
【学習内容】									
美容師に必要な公衆衛生、環境衛生の基礎を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。パワーポイント、教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・勉強・課題など】				
教科書・プリント・国家試験過去問題									
日時	授業計画	日時	授業計画						
① (5 / 11)	【15分】 自己紹介を通してお互いを理解していく。なぜ公衆衛生学の学習が必要か理解する	② (7 / 13)	【15分】 環境衛生の概要について内容、目的と意義環境活動について理解する						
② (5 / 18)	【15分】 公衆衛生の意義と課題、公衆衛生の歴史について理解する	③ (7 / 20)	【15分】 空気環境について知識を深め理解する						
③ (5 / 25)	【15分】 美容師・美容師との公衆衛生がなぜ深く関わりを持つようになったのか、保健所と美容業・美容業の関わりについて理解する	④ (8 / 24)	【15分】 衣服・住居の衛生について理解する						
④ (6 / 1)	【15分】 母子保健、成人、高齢者保健について知識を高め理解する	⑤ (8 / 31)	【15分】 上下水道と廃棄物について知識を深め理解する						
⑤ (6 / 8)	【15分】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する(パワーポイント、プリント使用)	⑥ (9 / 7)	【15分】 衛生害虫とネズミ、環境保全について知識を深め理解する。(パワーポイント、プリント使用)						
⑥ (6 / 22)	【15分】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する	⑦ (9 / 14)	【15分】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期テストテストに備える						
⑦ (6 / 29)	【15分】 成人・高齢者保健について知識を深め理解する。	⑧ (9 / 15)	【15分】50 衛生管理1編「公衆衛生」、2編「環境衛生」から出題。						
⑧ (7 / 6)	【15分】 精神保健について知識を深め理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 12月試験に際しては知識「衛生管理1編」・「環境衛生」を強化し、22点とする。							
【履修に当たっての心構え・留意点】 授業内容を理解する、遅刻授業態度の指導									

講義シラバス

科目名	ヘアアレンジ&メイクアップ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	福士智子/神敦子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
美容業界でプロを目指す上で、必要とされる基本的なメイク技術を習得する									
【学習内容】									
美容師に必要なメイク技術を学び、仕事に生かせる作品作りをする。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、ヘア道具一式、筆記用具、ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (5/13)	【到達目標】 オリエンテーション・自己紹介・授業内容の説明。道具の名所を覚え、セッティングまでをできるようにする。				⑨ (7/15)	【到達目標】 小テスト5点 ラメやグリッターを使ったアイメイクが出来るようになる。			
② (5/20)	【到達目標】 小テスト2点 メイクのデモンストレーションを見せ、道具の使い方や撮影のメイク方法を知る事が出来る。				⑩ (7/22)	【到達目標】 小テスト2点 祝日オンライン講義 韓流・中国メイクの特徴を知り、コンセプトシート仕上げる			
③ (5/27)	【到達目標】 小テスト2点 セルフメイックスキンケア～ベースメイク・ハイライト・シェーディングまでの手順を学びセルフメイクでできるようにする。				⑪ (8/26)	【到達目標】 小テスト5点 韓流メイクか中国メイクを選んで、メイクをする事が出来る。			
④ (6/3)	【到達目標】 小テスト5点 セルフメイックスキンケア～アイメイクまでの手順を学びセルフメイクでできるようにする				⑫ (9/2)	【到達目標】 小テスト5点 ヘアセットポニーテールアレンジが出来るようになる			
⑤ (6/10)	【到達目標】 小テスト5点 スキンケア～チーク・リップ・ハイライト・シェーディングまでの手順を学びセルフメイクでできるようにする				⑬ (9/9)	【到達目標】 小テスト2点 ヘアセット編みおろしアレンジが出来るようになる			
⑥ (6/24)	【到達目標】 小テスト5点 ヘアセット ウイッグでアイロンを使ってダウンスタイルを作ることが出来る。				⑭ (9/16)	【到達目標】 小テスト2点 カラーを選び、セルフメイクでカラーメイクが出来るようになる。			
⑦ (7/1)	【到達目標】 小テスト5点 ヘアセット ウイッグでアイロンを使ってハーフアップを作ることが出来る。				⑮ (9/30)	【定期試験】50点 テーマ・コンセプトに基づいてセルフメイクを60分で仕上げる。			
⑧ (7/8)	【到達目標】 小テスト5点 編み込みの種類を学び、色々な編み込みが出来るようになる				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	美容実習(カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	牛戸 協子	講師 プロフィール	札幌市内で複数店舗を営む美容室に人社後、アシスタント・トップスタイリストを経て、20代前半でマネージャーを経験し、結婚退社。復帰後はフリーで活動しながらベルエポックで講師も務めている。現在は顧客・メディア関係のヘアセットも手がけるなど、幅広く活動中。						

【授業を通じての到達目標】

基本となる何種類かのカットスタイルの切り方を習得し、creativeなカットスタイルまで出来るようになる。

【学習内容】

実際にウイッグを使ってカットし、ブロー・スタイリングまで学んでいく

【使用教科書・教材・参考図書】

カット道具一式(シザー、コーム、ダッカール、スプレイヤー、デンマンブラシ、ドライヤー、タオル4枚程度)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (5/9) (5/10)	【到達目標】 ・年間の授業の進み方を理解する ・シザーの開閉の習得 ・ブロッキングの練習	⑤ (7/11) (7/12)	【到達目標】 ・same layerを使ってメンズのカット&スタイリングが出来るようになる
② (5/16) (5/17)	【到達目標】 same layer ・展開図を理解出来るようになる	⑩ (7/18) (7/19)	【到達目標】 ・creativeな作品を身近に感じ、感性・創造性・独創性を身につける
③ (5/23) (5/24)	【到達目標】 same layer ・切り方を理解して全体を切れるようになる	⑪ (8/22) (8/23)	【到達目標】 one length ・ワンレングスの切り方・ブローを理解し切れるようになる(コーム)
④ (5/30) (5/11)	【到達目標】 same layer ・指定された長さに切れるようになる	⑫ (8/29) (8/30)	【到達目標】 one length ・ワンレングスの切り方・ブローを理解し切れるようになる(フィンガー)
⑤ (6/6) (6/7)	【到達目標】 same layer ・ブローのやり方を理解し出来るようになる	⑬ (9/5) (9/6)	【到達目標】 ・試験に向けてのカットスタイルを考え練習する
⑥ (6/20) (6/21)	【到達目標】 same layer ・指定された長さにカットしブローまで出来るようになる	⑭ (9/12) (9/13)	【到達目標】 ・試験の内容を理解し、時間内にカットできるよう練習する
⑦ (6/27) (6/28)	【到達目標】 bangs(前髪) 何種類かのバンクを理解し切れるようになる	⑮ (9/26) (9/27)	【定期試験】 ・決められたテーマを基に時間内にカット&スタイリングまでする
⑧ (7/4) (7/5)	【到達目標】 ・刈り上げ、ブロックを理解し切れるようになる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

--	--

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルの道	必修 選択の別		開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業、東京にてTOPスタイリスト、ヘアメイクを経験し、原宿ベル講師、原宿ベル職員を経て札幌ベルに移動。東京で活躍している卒業生を数多く輩出し、今年は1年生の担任を行い、学年全体の就職サポートを行う						
【授業を通じての到達目標】									
プロ道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する よりよい学校生活を送るための身構え・気構え・心構えを身に付ける									
【学習内容】									
目標設定、振り返りを行う。インプットだけでなくアウトプットを行う。 Teamsを活用する。 活発にコミュニケーションを取る									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
Teams、社会人基礎力、コミュニケーション検定本、筆記用具									
日時	授業計画			日時	授業計画				
① (5/11)	【到達目標】 Teamsの活用の知識を深める 課題・発表 スケジュールの確認を行う			⑨ (7/13)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				
② (5/18)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク			⑩ (7/20)	【到達目標】 夏休みの過ごし方 目標達成度の確認				
③ (5/25)	【到達目標】 就職について学ぶ 今から考えること 元気ですよポスター			⑪ (8/24)	【到達目標】 夏休みの振り返り 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				
④ (6/1)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク サロン体験について			⑫ (8/31)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				
⑤ (6/8)	【到達目標】 導入期間準備について			⑬ (9/7)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				
⑥ (6/22)	【到達目標】 導入教育振り返り			⑭ (9/14)	【到達目標】 社会人基礎力について学ぶ グループワーク				
⑦ (6/29)	【到達目標】 東京サロン TOPサロンゼミ			⑮ (9/28)	【定期試験】60 ○社会人基礎力 ○1Sの振り返り、テスト				
⑧ (7/6)	【到達目標】 苦手克服プログラムについて			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験80点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容総合(シャンプー&サロワーク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	伊藤元気	講師 プロフィール	ウェルジャパン㈱に入社18年目になります。社内の教育チームとしても活動しています！ベルエポックの講師3年目です！						

【授業を通じての到達目標】

サロン入社後、即戦力となるカラー、パーマ、シャンプー、スタイリングなどのアシスタント業務や接客、コミュニケーション力、美容師としての在り方、考え方を学ぶ。

【学習内容】

アシスタントとしての在り方、考え方、技術を学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

用具一式、パーマ道具一式、ブロー道具一式、ヘアアイロン、ウィッグ、筆記

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (5/9)	【到達目標】 授業内容の説明、自己紹介、アイスブレイク	⑨ (7/11)	【到達目標】 人頭パーマヘルプ
② (5/16)	【到達目標】 シャンプートレーニング(シャンプーデモ)	⑩ (7/18)	【到達目標】 オンライン授業(接客マナー)
③ (5/23)	【到達目標】 シャンプートレーニング	⑪ (8/22)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ
④ (5/30)	【到達目標】 シャンプートレーニング(ドライデモ)	⑫ (8/29)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ
⑤ (6/6)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ	⑬ (9/5)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ
⑥ (6/20)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ	⑭ (9/12)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ
⑦ (8/27)	【到達目標】 シャンプートレーニング、ドライ	⑮ (9/26)	【定期試験】50 定期試験(シャンプー、ドライ)
⑧ (7/4)	【到達目標】 パーマヘルプ	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

--	--	--	--

講義シラバス

科目名	カラーリングデザイン	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース		学年	1年生	講師名	元山、石川、佐々木、木村	札幌美容室Bud	
【授業を通じての到達目標】									
カラーの基礎知識、技術ができるようになる									
【学習内容】									
ヘアカラーの基礎技術、ブリーチカラー									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カラーに必要な道具、ウィック、クランプ、ハケ、グローブ等									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (5/10)	【到達目標】 Bud紹介、自己紹介、シラバス説明、リアルなサロンワークに興味を持つようになる				⑨ (7/12)	【到達目標】 ブリーチカラー理論 ブリーチを使ったカラーの理論説明をする。 どのような仕組みでブリーチカラーが作られているかを理解する。			
② (5/17)	【到達目標】 カラー基礎 色の三原色等、カラー材種類など カラーの基礎知識を理解し、より身近にサロンカラーを感じるようになる。				⑩ (7/19)	【到達目標】 ブリーチケミカル、デモ ケミカル勉強後、ブリーチを実際に塗って説明していく。			
③ (5/24)	【到達目標】 練習ワンカラー ハケの使い方などデモ(練習トリートメント) ゆっくり塗りの練習 基礎的なワンカラーの塗り方をトリートメントを使って説明、練習する				⑪ (8/23)	【到達目標】 ブリーチ全頭 ウィックにブリーチを実際に塗ってみる。 前回のデモウィックと照らし合わせてフィードバックする。			
④ (5/31)	【到達目標】 実践ワンカラー2(12レベル) ウィックに実際にカラー剤を使ってトーンアップしてみる。 基礎的な塗りができるようになる				⑫ (8/30)	【到達目標】 ブリーチオンカラー理論、デモ ブリーチオンカラー理論を勉強後、実際に塗って説明していく。			
⑤ (6/7)	【到達目標】 カラー選定方法、ケミカル 選定。カラーの選定方法を理論で説明する。 初歩的な選定ができるようになる。				⑬ (9/6)	【到達目標】 ブリーチオンカラー、 実際にオンカラーしてみる。			
⑥ (6/21)	【到達目標】 実践ワンカラー、トーンダウン 前回のカラー選定授業で学んだことを活かして 4のウィックを自分で選定し、トーンダウンする。(2センチ損元開ける)				⑭ (9/13)	【到達目標】 テスト練習 筆記 カラー理論について			
⑦ (6/28)	【到達目標】 リタッチ理論 リタッチについて気をつける点や、選定理論を説明、理解する。				⑮ (9/27)	【定期試験】50 テスト 筆記テスト			
⑧ (7/5)	【到達目標】 リタッチ実践 5で使ったウィックを使ってリタッチする。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									